様式３(2020.06改)

作成日　令和　4 年　3月　　23日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000176
事業所名	グループホーム大清水彩幸

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板のやり取りを通じて地域と繋がり、地域情報を得ている。近隣同業事業所とは、行方不明捜索伝達訓練の参加を通じて連携を図り、地域貢献に努めている。 電話での介護相談や入居の問い合わせがあり、その都度状況に見合ったアドバイスをして認知症専門知識を活かし貢献している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年6回定期的に開催しコロナ感染対策で職員のみで開催している。構成メンバーである民生委員、自治会長、包括職員には郵送で議事録を郵送、文面回覧にて運営状況を報告、協働関係を継続している。会議では事業報告を主に行い、業務改善に向け検討する仕組みがある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市長寿介護課には、事業関連書類の提出等で窓口で直接話をしたり、必要時に電話で相談できる関係性を築いている。民生委員とは高齢者サロンの相談や情報収集をしたり、入居相談、他同業事業者の情報収集等、随時電話で相談して協働関係を深めている。認知症介護者実践者研修や事業管理者研修等、市町村主催の研修の参加があった。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月「グループホーム便り」を発行し、個別に写真や健康状態、食事摂取等の日常の様子を詳細に報告し、家族に安心や信頼を与えている。家族面会は法人が制定する感染対策を基に実施され、利用者や家族が安心して面会できる環境を整備している。利用者や家族の要望は、朝礼等の申し送りや連絡ノート、法人内掲示板、会議等で周知や検討して、サービスに反映する体制を整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	×	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									